

1000 (Z) シリーズ

エポキシインキ 1000 (Z) シリーズは、非常に広い範囲の素材に対して密着性を持っている 2 液反応型のインキです。特にアルミ、金属塗装板、ステンレス、フェノール、メラミン、処理オレフィン、ガラス、セラミック等に応用され、長い期間被膜がはがれにくく耐薬品性に優れ、実績とともに高く評価されています。

タイプ

エポキシ系

2 液加熱硬化型 （常温乾燥可*ただし乾燥条件により被膜性能が異なります。）

用途

鉄、アルミ、ステンレス等の金属および金属塗装板の工業部品、標識、プレートに多用され、またガラス、熱硬化性プラスチック、処理オレフィン容器等の印刷に実績があります。また耐酸、耐アルカリ、耐溶剤、耐磨耗性の要求される印刷物にも適しています。

特徴

平滑性に優れた耐磨耗性の良い被膜を形成し、光沢ある仕上がりが得られます。

他のインキに比べ広範囲の素材への密着性があります。

希釈溶剤

標準溶剤 T-1000

超遅乾溶剤 T-965

硬化剤混合

混合比 インキ：硬化剤＝70：30（スタンダード色）

（色や硬化剤の種類により異なる場合があります。詳しくは別表をご覧ください。）

よく混合し 10 分程度の時間をおいた後、T-1000 で適性粘度に調整してください。

混合されたインキは経時により少しずつ増粘します。20℃で約 12 時間は使用可能ですが、増粘は印刷時の泡立ちの要因になるばかりでなく素材への密着性を損なう原因になりますので、必要量に応じて混合し、時間内に使い切るように調整することが経済的です。

1000 (Z) インキには用途別に数種類の硬化剤があります。

1000 硬化剤 標準的な硬化剤です。通常はこちらをお使いください。

1000 マット硬化剤 D インキ表面がマット（艶なし）になります。

1000 セミマット硬化剤 インキ表面がセミマット（半艶）になります。

1000 速乾硬化剤 No.5 1000 硬化剤の速乾タイプです。

1000No.6 硬化剤 速乾タイプですが、速乾 No.5 ほど速くありません。

1000 硬化剤 F 1000 硬化剤の高粘度タイプです。



洗浄溶剤

T-31

印刷

スクリーンメッシュ テトロンまたはナイロンの 200～300 メッシュをお勧めします。

乾燥

自然乾燥、焼付乾燥いずれも可能

常温 25℃20-30 時間（指触乾燥は 2 時間）

焼付 80℃40 分

120℃20 分

白色インキは 100℃を超える場合、黄変するのでご注意ください。

その他

- ・蛍光色もご注文いただけますが、貯蔵安定性と耐候性が劣りますのでご注意ください。
- ・夏季など、版上でインキの乾きが速い場合は希釈溶剤として **T-965** をご使用ください。
- ・厳冬季、雨季は湿気によるカブリ現象が発生する場合があります。その場合は **1000 速乾硬化剤 No.5** を使用し、印刷後は直ちに焼き付けしてください。
- ・粘度および印刷環境（温度・湿度）によって泡やピンホールが発生する場合があります。粘度調整等で消泡効果のない場合は **Care8** を添加してください。添加量についてはインキと硬化剤を合算した上での重量パーセントでお願いします。
- ・屋外暴露製品（看板・標識等）にご使用の際はエポキシ樹脂特有のチョーキング現象（白亜化）が現れますのでご注意ください。
- ・素材により印刷被膜性能に差異が出ますので、かならずご確認の上ご使用ください。
- ・5℃以下では硬化が進みませんので、冬場などは素材や雰囲気温度を十分に上げて印刷してください。

参考資料 (性能表は弊社での試験値であり、性能を保証するものではありません。)

(評価: 良 A-B-C-D-E 劣)

素材の差によるインキ被膜性能

試験項目	アルミ	鋼板	ブリキ	ガラス
耐水性	A	A	A	D
耐湯性	B	B	C	E
耐酸性	B	B	C	D
耐アルカリ性	B	B	C	D

乾燥条件によるインキ被膜性能

試験項目	常温 1 週間	60℃ 60 分	80℃ 60 分	100℃ 30 分	120℃ 30 分	150℃ 30 分
密着性	B	A	A	A	A	A
硬度	C	C	B	B	A	A
耐酸性	D	D	C	B	B	B
耐アルカリ性	D	D	C	B	B	B
耐溶剤性	D	D	D	B	B	B

硬化剤の混合比による被膜性能

試験項目	インキ: 硬=80:20	インキ: 硬=70:30	インキ: 硬=60:40
硬度	3H	3H	2H
耐メタノール摩耗性	A	B	D
耐アルカリ性	B	B	E
可とう性	C	B	A

カラーによる被膜性能

試験項目	120 ホワイト	210 レモンイエロー	265 ウルトラオレンジ	440 ブルー	510 アメリカンレッド	710 ブラック
耐メタノール性	A	A	C	C	C	C
耐酸性	A	A	A	C	C	C
耐アルカリ性	A	A	C	C	B	C

参考資料 （性能表は弊社での試験値であり、性能を保証するものではありません。）

印刷皮膜物性試験表

	試験方法	1000(Z)
初期密着性 アルミ	クロスカットセロテープ剥離試験	100/100
ガラス		100/100
鉛筆高度	750g 荷重、45°	2H
耐エタノール性	500g 荷重、ラビング 50 回	異常なし
耐 MEK 性	500g 荷重、ラビング 30 回	異常なし
煮沸性	100°C30 分	異常なし

試験条件

インキ : 1000 (Z) 120 ホワイト
素材 : アルミ板、ガラス
スクリーン : テトロン 200 メッシュ
スキージ : ウレタン中硬
印刷 : 手刷り
混合比 : インキ : 1000 硬化剤=70:30
稀釈率 : 20%
乾燥 : 120°C30 分

参考資料

1000 (Z) シリーズ配合比率一覧

	硬化剤の種類					
	1000 硬化剤	1000 マット 硬化剤 D	1000F 硬化剤	1000 セミマット 硬化剤	1000 速乾 硬化剤 No5	1000 No6 硬化剤
スタンダード色	70:30	70:30	70:30	70:30	70:30 (75:25)	70:30 (75:25)
800 850 透明色	60:40	60:40	60:40	60:40	60:40 (70:30)	60:40 (70:30)
コク 120	75:25	75:25	75:25	75:25	75:25 (80:20)	75:25 (80:20)
コク 200						
コク 220						
コク 265						
コク 320	70:30	70:30	70:30	70:30	70:30 (75:25)	70:30 (75:25)
コク 350						
コク 400	75:25	75:25	75:25	75:25	75:25 (80:20)	75:25 (80:20)
コク 440	70:30	70:30	70:30	70:30	70:30 (75:25)	70:30 (75:25)
コク 460						
コク 495						
コク 495						
コク 500						
コク 510						
コク 550						
コク 580						
コク 710	65:35	65:35	65:35	65:35	65:35 (70:30)	65:35 (70:30)
超コク 120	80:20	80:20	80:20	80:20	80:20 (85:15)	80:20 (85:15)
超コク 550	75:25	75:25	75:25	75:25	75:25 (80:20)	75:25 (80:20)
シルバー色	70:30	70:30	70:30	70:30	70:30 (75:25)	70:30 (75:25)
蛍光色	75:25	75:25	75:25	75:25	75:25 (80:20)	75:25 (80:20)

* () 内の混合比率でも可